

『依存』から『自立』へ…あなたの町『城南』です みんなで創ろう住みよい町を!!

城南かわら版

上田城南地域協議会だより

平成25年8月16日発行
(第6号)

発行元：上田城南地域協議会
(事務局) 市民参加・協働推進課
電話22-4100 内線1354

■城南地域協議会の活動報告

城南地域の皆さま、暑い日が続きますが、お身体くれぐれもご自愛ください。さて、今回は当協議会の活動の1つの柱であります「わがまち魅力アップ応援事業」の審査会についてご紹介します。

①「わがまち魅力アップ応援事業」って何？

まちづくりの主役である市民の皆さん自らが、創意工夫により地域の魅力を高め、市民の交流を促進する自主的・主体的な取組について市が支援する事業です。これまでに、地域の自然、文化、歴史を生かした地域づくりや、各種イベントの開催など幅広い活動を応援しております。

②「わがまち魅力アップ応援事業」の審査会はどんな様子なの？

次の手順で審査します。

- ・応募団体の代表による企画した事業内容の説明（プレゼンテーション）
 - ・地域協議会の委員からの質疑とそれに対する応答（助言中心となります。）
 - ・地域協議会の委員による審査（採択に向けての前向きな審査とお考えください。）
- 公益性、継続性、発展性、効果それに妥当性などの観点から評価いたします。

※「応募要項」などをご参照の上、これからも「わがまち魅力アップ応援事業」の積極活用をお願いします。
(応募要項は城南公民館や市役所にあります。)



審査会のプレゼンテーションの様子
写真正面が説明者

わがまち魅力アップ応援事業今年度採択事業をご紹介します。

事業名 上田原地域の歴史や文化を地元の児童に伝承する事業

上田原地域活性化協議会

代表 中村 實

川辺小学校は本年創立140周年（明治6年12月）を迎えることとなり、通学区内8自治会が中心となって、昨年12月に「川辺小学校創立140周年記念実行委員会」（委員長 滝沢康之）を立ち上げました。

そして、上田原地域の歴史や文化を地元の児童に伝承する事業として本年5月から10月にかけて6つの記念事業を計画しました。

まず5月29日(木)には、上田原地域の歴史と文化講演会を、6月21日(金)には記念音楽会を実施しました。

そして8月31日(土)にメインイベントとして行われる「川辺小学校創立140周年記念祭」は、体育館周辺にお祭り会場を設営し、その特設舞台で地元の伝統芸能である太神楽や和太鼓演奏、詩吟、川辺小学校合唱班の歌の披露を、そしてお祭り会場では、こども神輿、村上義清公出陣ねぶたの曳航また上田市では初めてとなるねぶた大太鼓の曳航などを予定しています。

今回の記念祭開催にあたって、戦国時代に武田信玄と村上義清の壮絶な戦いがこの地域一帯で繰り広げられた上田原合戦の歴史の場にふさわしい記念祭にしようと、わがまち魅力アップ応援事業の支援をいただき、子どもから大人までが一緒になって楽しく歴史と文化を学べるように計画しています。

また9月7日(土)に行われる上田市真田幸村公出陣ねぶた祭りに参加することにより川辺小学校の創立140周年をPRし、多くの市民の皆さんに祝福していただきたいと考えております。

その後の事業としては、9月21日(土)に記念運動会を開催し、開会式には大太鼓の演奏や親子合同太鼓演奏で盛り上げ、最後の10月19日(土)には記念ポプラ祭りを行って、この記念事業を締めくくりたいと計画しています。



上田原地域の歴史と文化講演会の様子

事業名 「モニュメント型遊具の制作と活用」と「プレイゾーン(幼児の遊び場) 設置」

上田 道と川の駅 おとぎの里

代表 石井 孝二

上田道と川の駅おとぎの里は、上田道と川の駅の設置目的に基づき、「地域性・社会性+事業性・自立性を伴った地域事業」を展開することより、「地域の抱える課題を、地域資源を生かしながらビジネス的手法を用いて解決し、コミュニティの形成を通じて、その利益を地域に還元する」こと、「産(民)・学・官との連携・協働により地域に合った“まちづくり”の推進と、市民が主体となって特徴ある持続可能な“豊かな地域社会の創造”に資する」ことを目的として活動しています。

おとぎの里は、8つの部会で構成しています。

1.ふるさと部会

上田道と川の駅及び地域の魅力アップ活動…施設の環境整備、周辺環境の活用と保全、原風景の研究・検討 他 エリアマネジメントシステムの推進

2.安全・安心部会

安全・安心な地域づくり…健康づくり、防災・交通安全の推進 等
リスクコミュニケーションの醸成

3.てらこや部会

環境教育と文化振興活動 他 サイエンスカフェの展開 等

4.農林水産物部会

農林水産物出品、農林水産振興、学習会・講習会の開催 等

5.食品部会

加工食品づくり、食文化振興と地産地消、学習会・講習会の開催 等

6.あとりえ部会

伝統技術伝承、芸術・趣味の表現、ギャラリー展開 等

7.企画・プロモーション部会

事業・行事の企画、観光への取り組み、施設・事業のプロモーション 等

8.あきない部会(株式会社 おとぎの里)

運営



マスコットキャラクターも参加して行われた
飲食物販施設完成式典



オリジナル「ふあふあ」

おとぎの里では随時会員を募集しています。上田道と川の駅の物語をみんなで作っていきませんか？

上田道と川の駅は、「上田市わがまち魅力アップ応援事業」により昨年上田道と川の駅マスコットキャラクター「にゃん」と「ちゅー」を製作しました。

今年度は、施設のサイン及び遊具として「にゃん」のオリジナル「ふあふあ」を設置しました。

その他の実施事業

	事業名	団体名	活動年数	事業内容	備考
1	“子どもや高齢者に優しく思いやりのある町”千曲町、町づくり事業	千曲町自治会	5年目	ふれあい農園とお花畑の実施、書道教室及び図書施設の開設、パソコン教室の開設、福祉マップの有効活用。	城南かわら版第4号で紹介
2	地名の由来と地域の歴史遺産を活かした魅力あるふるさとづくり事業	御所自治会	3年目	遊歩道の整備(原峠)、御所地域史跡巡り、歴史講演会、冊子「御所の歩み」の原稿作り及び出版。	広報うえだ2月1日号で紹介
3	天白山石段看板設置事業	下之条自治会	2年目	案内看板の設置、石段の清掃及び草刈り、入口付近にあじさいを植栽し、環境整備を図る。	城南かわら版第5号で紹介
4	中之条地域の歴史遺産を文書化し、絆を深める取り組み	中之条自治会	2年目	既収集資料の整理・構成、未収集資料の調査・収集、外部講師による郷土史の講演会、中間発表会。	城南かわら版第4号で紹介
5	荒廃農地を有効活用した地域コミュニティ活性化事業	加美幡そば愛好会	2年目	荒廃農地でのそば栽培を通して、農地の有効活用と地域の自然環境の保全、別所線沿線の田園風景の向上を図る。	城南かわら版第5号で紹介

城南地域協議会で視察研修を実施しましたのでご報告いたします。

第一部会 「里山の再生と農地の保全」

日本一のスイートコーンのまち【山梨県中央市】

7月1日（月）部会員等12名は、農業生産・販売の先進地である中央市を訪ね、城南地域に応用できる方策の参考になる事例を数々学ぶことが出来ました。

道の駅とよとみ

旧豊富村は、かつては日本有数の養蚕地でありましたが衰退は避けられず、その代替作物として土壌・気候が栽培に適していたとうもろこしを選びました。販売するために道の駅内に農産物直売所を併設。生産者及び行政・農協・商工会等が垣根を取って連携を行い、その結果として、各種のイベントは旅行会社との連携もあって年間1,000台のバスが訪れる行列の出来る施設となり「直売所甲子園2009」（全国1万3千の農産物直売所の中の初代チャンピオン）にも輝きました。

「た・から」農産物直売所

この直売所のある田富地区は全国でも有数のトマトの産地で知られています。施設栽培も活発に行われ、一年を通して豊富な野菜が搬入されます。食育教育にも力を入れており、市内保育園児やその家族を対象に農業体験等を行っています。

「企業の農園づくり推進事業」実施園場視察

企業は利益追求と合わせて社会貢献にも目を向けており、遊休農地を活用した地域の活性化に取り組んでいます。

「考察」

二つの農産物直売所と企業の農園づくりを視察して、農家が作った作物の販路拡大が遊休農地の解消、更には農業振興につながっています。それには生産者・行政・農業団体等が各自ではなく実質的で緊密な連携を図り、国・県の農業研究機関等との具体的な検討が必要であることを痛感しました。

部会長 西川 良幸



道の駅 とよとみ農産物直売所視察



交流促進センターで説明を受け研修



企業の農園づくり推進事業の取組を視察

《城南さんぽ道》

～中之条の巻～

千曲高校前信号の少し南東に宮川神社があります。上田原合戦の際、武田軍が必勝の祈願を行い、その後に永銭30貫文を奉納してから、毎年正月15日に「武田信玄神願の綱」と称するしめ縄を飾り付けています。

150m南へ下ると、どっしりした中之条公民館があり、中の格天井・シャンデリア・各室ネームプレートなどに歴史を感じます。

更に400mほど南へ行くと約20基の石碑が安置されている姥懐（うばふところ）に着きます。一番大きな碑は、墨書や生花に秀でた西沢居定の喜寿を祝って明治5年に建立された「寿水斎翁寿蔵碑」です。

そこからわずか道を上ると赤坂の信号になります。



姥懐（うばふところ）



宮川神社



武田信玄神願の綱

第四部会 「地域内分権推進と実行」

平成18年に発足した新生上田市は、住民参加のまちづくりと地域内分権を推進するために、平成32年度を目標に住民自治組織の立ち上げを予定しています。

この背景には、分権型社会や少子高齢社会の到来などにより社会構造が大きく変化する中で、市民はお互いがそれぞれの責任を担い、自らが居住する地域社会で一定の役割を果たしていくことが求められる状況になってきていることなどがあります。

第4部会では、昨年から「地域内分権の推進と実行」をテーマに、地域にふさわしい自治組織の在り方を行政サイドと情報交換連携しながら研究模索していますが、その一環として先進事例を参考にするため、6月25日(火)に飯田市を視察訪問してきました。

飯田市は平成19年から地域自治組織を立ち上げ、行政と住民の協働を推進する仕組みを着々と進化させつつあります。

私たちは今回、鼎公民館の活動を中心にヒアリングしましたが、当地は歴史的にも公民館活動が活発であり、社会教育機関としての独自性を保ちつつも、自治組織運営の中核的存在になっていると思われました。

飯田市の場合は、行政主導ではなく市自治協議会連合会からの提案によってこの仕組みがスタートしたことが特徴ですが、発足前の数々の問題点がすべてクリアされたわけではなく、試行錯誤を繰り返しながらも地域の将来を見据えて、更に改善進化させていきたいとのことでした。

私どもの部会としては、今回の視察内容を参考にして地域の特性や既存組織との関わりかた、そして地域の皆さんが何を必要としているのかなどについて更に検討を進めていきたいと思えます。

部会長 山浦 健太郎



飯田市鼎公民館でのヒアリング状況



鼎(かなえ)公民館正面玄関



郵便はがき

50円切手
をお貼り
下さい

386-8601

長野県上田市大手一丁目 11-16

上田市市民参加・協働推進課

城南地域協議会事務局 行

差支えなければお名前と
連絡先をご記入ください。

<地域の課題や検討すべきテーマがあればご記入ください。>

<ご意見・ご感想をお寄せください。>

お名前

ご住所(上田市)

◆◆ あとがき ◆◆

城南かわら版第6号をお届けします。

城南地区の平成25年度わがまち魅力アップ応援事業のご紹介と地域協議会活動報告を中心に編集しました。どうぞ一読ください。

また、ご意見をお寄せいただくひとつの方法として葉書サンプルを載せました。

地域の課題やまちづくりに関する積極的なご意見・情報を事務局までお寄せください。

